

# オレンジカフェ

当院で毎月第4金曜に開催している認知症カフェ「オレンジカフェ」も今月で5年目に入りました。現在は茶話会だけでなく、各専門職のミニ講座も開催しており、ご好評いただいております。また、当日のみ病院より「つきのわ駅」「森林公園メンタルクリニック」「森林公園駅」「なめがわ地域 福祉支援センター」「滑川町役場」経由での送迎バスの運行も行っており以前より気軽に参加が可能となりました。

オレンジカフェは認知症を発症している方やそのご家族、また地域住民の集まりの場所として機能しております。楽しくおしゃべりをしたり、相談をしたり、また、ミニ講座を聞いたり好きなようにお過ごしいただけます。途中で退席も可能なため「今日はミニ講座だけ聞きに来ました」という参加者もいらっしゃいます。職員一同『いつでも笑顔を』モットーに憩いのひと時となるよう、心掛けております。

今回は4月26日（金）開催予定です。たくさんの方の参加をお待ちしております。

## 第21回 看護師・介護職合同就職説明会

平成31年1月24日（木）

なめがわ地域 福祉支援センターで開催いたしました。

内容は医療法人昭友会の概要説明、各事業所の説明、職場見学、懇談会を行い、無事に終了しました。

今回は7月25日（木）に開催予定となります。

各事業所の見学会は随時募集しておりますので、お気軽にお電話（0493-56-3191）にてお問い合わせください。

## 3月の行事食

【早春】

- ・ちらし寿し
- ・お吸い物
- ・鯖の梅みそ焼き
- ・炊き合わせ
- ・和風スイーツ



## 皮膚科より

平成31年3月より皮膚科担当医師が國廣 佳奈医師より三輪 祐医師に交代しました。よろしくお願いいたします。

## 職員ユニフォームの変更について

職員のユニフォームが変更となります。変更後のユニフォームに関しては、次回（第49号）にご紹介させていただきます。宜しくお願いいたします。

## 編集後記

「もりのたより」も平成最後の発刊となりました。皆さまは平成をどのように過ごされましたか？5月からは新しい元号です。新たな気持ちで新しい時代を迎えましょう。

広報委員会 小峰 信之



埼玉森林病院のホームページ <https://www.kokoro.or.jp/saitama/>

医療法人昭友会 埼玉森林病院



〒355-0807 埼玉県比企郡滑川町和泉 704  
TEL0493-56-3191 FAX0493-56-4831

# 新年度の挨拶と中央棟完成のご案内

春陽の候、皆さまにおかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。年頭のご挨拶のご案内させていただきました通り、当院では「里山にかこまれた人々の集う癒しの病院」をコンセプトに、増改築工事を行っております。そんな中、平成31年4月に中央棟と呼ばれる158床がオープンする運びとなりました。

当院が開設された約40年前と現在の精神科病院とを比較すると、機能の面では、施設のような長期間の生活の場から短期間の治療の場へと大きく変化してきております。また、ハード面でも、鉄格子、畳部屋、8人9人の大部屋、狭い廊下、薄暗い室内などが当たり前だった時代から、病室から浴室、トイレに至るまでゆったりとして開放的で、明るく清潔感のある、プライバシーに配慮された病棟が求められる時代となっております。また、国の施策も変化し、法も改正され、ご利用される患者さまやそのご家族のニーズも変化していると感じます。そして、さらに10年先、20年先と精神科の入院医療に求められる機能もハード面も、変化し続けていくことでしょう。これらの変化は、当院にも当然求められているものであり、今回の増改築に至ったものであります。

さて、この中央棟ですが3つの病棟から構成されており、2階は急性期、3階は亜急性期、4階は合併症ユニットとストレスケアユニットと、それぞれの病棟ごとに機能を明確にしました。また、個室を増やし、いわゆる大部屋でも4床までとし、安全面はもちろん、寛ぎ、ゆとり、プライバシーなど重視した病棟となっております。特に4階のストレスケアユニットでは、入院したくてもハード面で入院を断念せざるを得なかった患者さまにも、今後はご納得いただける療養環境をご提供できることと思っております。

埼玉森林病院ではこの新病棟のオープンを機に、ハード面だけでなく、医療の質にもこだわり、ここ比企地域において精神科を中心とした、良質な医療の提供を継続的に行っていくよう、職員一人一人がさらなる努力を続けて参ります。今後ともご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い申し上げます。



「中央棟の外観」



「中央棟内」



「4床部屋」

医療法人昭友会 埼玉森林病院  
院長 磯野 浩

## ◆◆◆中央棟の機能のご案内◆◆◆

<b>4F</b>	<p>身体合併症ユニットでは、精神疾患だけでなく、身体疾患を併せ持つ患者さまの治療に対応する病棟になります。主に内科系での身体管理が必要な方を受け入れ身体疾患の治療に特化したケアを行います。</p> <p>ストレスケアユニットでは、ストレス関連疾患による「うつ」などに対応します。その中で入院する目的は様々であり、休息目的や復職を目指し、ストレスとの向き合い方について学ぶことであつたりします。利用される方に対し、専門的なケア（認知行動療法、心理教育、集団精神療法、運動など）を行い支援いたします。</p>
<b>3F</b>	<p>急性期治療を行うが、急性症状を繰り返すために段階的な治療を要し、精神症状が安定し、退院までに概ね1年以内を目指す病棟です。この病棟では、地域社会に戻るために地域等の連携を行いながらケアの方向性を共有し、症状の再燃を最小限にとどめるよう疾患との向き合い方や社会生活へのリハビリテーションプログラムなどを行います。</p>
<b>2F</b>	<p>精神症状が悪化し、集中的な治療が必要な場合で、概ね3か月以内の入院とする病棟です。この病棟では、急性症状の治療を最優先に心身の安静に努め、症状に合わせた様々な治療（薬物療法、精神療法、疾病教育などを含む心理教育など非薬物療法を用いて）を早期に行います。患者さま自身も主体的に疾患に対峙することによって急性症状を軽減し、入院初期から社会復帰を目指します。</p>
<b>1F</b>	<p><b>作業療法</b>とは、病気の影響によって起こる日常生活上の不自由さを改善するために、生活訓練を行うという治療の一環になります。中央棟では、新たに少人数で行えるADL室、面談室を設けました。これらの部屋ではグループの凝集性や習熟性が高めやすく、治療効果もより高まります。取り組みとして、料理実習や心理教育、疾病教育、自助グループなどの小グループ活動や個別面談なども行います。さらに身体機能面へのリハビリもより一層充実させ、患者さま個々の病期や目的に合わせた活動を提供し、早期に社会復帰が可能となるよう支援してまいります。</p> <p><b>栄養課</b>では食事が治療の一環となるよう患者さま個々の病状に合わせた食事提供と栄養管理を行っております。また、入院生活の中で季節を感じていただけるよう月一度、旬を意識した行事食をお出ししております。今後も美味しく、安心安全な食事を提供するよう努めてまいります。</p>
<b>C病棟</b> 【身体合併症 ユニット】 【ストレスケア ユニット】	
<b>B病棟</b> 【亜急性期】	
<b>A病棟</b> 【急性期】	
<b>【作業療法室】</b>	
<b>【栄養課】</b>	

## カンフォータブル・ケアで変わる認知症看護 研修会開催

3月2日土曜日、札幌市にある、医療法人北仁会旭山病院の認知症病棟師長 南 敦司氏をお招きし、カンフォータブル・ケアという新たな認知症ケア技術研修会を開催しました。カンフォータブル・ケアは、南氏が長年の認知症看護の実践・研鑽を通して確立した技術であり、この技術を実践している病院では認知症高齢者の回復が進み、職員の笑顔が増え、認知症ケアに対する自信と達成感が高まっています。

認知症に対する医療やケアは当院の専門分野です。その専門性は常にブラッシュアップしなければなりません。研修当日は60名ほどの法人内の看護職員を中心とし、作業療法士、介護職員が多く参加しました。

当院では、このケア技術を認知症の方への看護の柱として取り入れます。私たちの目指すことは、「私が患者、家族だったらどんな医療・看護をしてほしいか…」です。認知症の方も職員も互いに笑顔で自信が持てる実感を確認し、この地域をはじめとする埼玉県下で認知症の看護なら埼玉森林病院と言われるようにしていきたいと考えております。

### 講義内容

カンフォータブル・ケアとアクティビティ・ケア

- カンフォータブル・ケアは認知症の方が心地良いと感じる刺激を提供しBPSDを改善する認知症ケア技術です。
- アクティビティ・ケアは生活全般に渡り活性化を促し生き生きとした状態で日常生活を送るための技術です。



### 一訪問歯科を開始しました一

お身体の不自由な方、寝たきりの方など通院が困難な方のご自宅に診療へ伺います。外来と同じレベルの診療を目指し、これまで以上に地域に密着した歯科医療を実践してまいります。



### □院内研修

下記の研修を行いました。研修で学んだことを日々の患者さまとの関わりに活かしてまいります。

- 院内感染Ⅱ  
平成30年12月11日(火) 18日(火) 25日(火)
- 安全管理Ⅱ  
平成31年1月 8日(火) 15日(火) 22日(火)
- 精神保健福祉Ⅱ  
平成31年2月12日(火) 19日(火) 26日(火)

## ◆◆◆東棟・外来棟の機能のご案内◆◆◆

中央棟の完成に伴い、今後は東棟・外来棟の増改築を実施いたします。各病棟、特徴を活かし、患者さまへのケアを実施してまいります

<b>東棟</b> <b>D病棟</b> 【慢性期】	<p>入院期間が長期（1年以上）となっている方など回復に時間を必要としている患者さまへ、退院支援をしながら社会復帰や病状安定などを重点にリハビリテーションを行う病棟になります。SST（ソーシャルスキルトレーニング）や疾病教育など、退院や施設入所に向けて生活自立度が拡大できるようにすることを目的としています。</p>
<b>外来棟</b> <b>E病棟</b> 【慢性期】	<p>認知症の軽度の方から中等度以上の重度や終末期の方と幅広い方の対応を行います。その中で生活機能の改善や回復、症状の軽減を目指し、患者家族の関わりを大切にし、カンフォータブルケア（*研修内容を参照）を行い、退院や施設入所など生活の質の向上が出来るような関わりを目指します。</p>